

2 みんなにやさしいまちづくりを進めるために

《当事者が参加したまちづくり》

だれもが安心して生活できる住みよいまちづくりを進めていくためには、障害者や高齢者等の利用方法や移動手段を考慮しながら、あらゆる人々が利用することを想定した整備計画および設計を行う必要があります。

このため、整備計画を策定する過程において、事業主体のみならず様々な立場の地域住民や当事者の意見を聞いて、計画に取り入れていくことが重要です。

●あらゆる人の意見を聞きましょう

【ポイント】

整備する施設や場所を、どのような人が、どういったときに、どのくらい利用するのかを考慮し、できるだけ幅広い人の意見を聞くことが重要です。

《意見を聞く対象者の例》

利用者	利用者以外
<ul style="list-style-type: none">・障害者の方 (障害は特性があるため、視覚・聴覚・身体・知的・精神等、色々な障害の方やその関係者に参加してもらうことが大切です。)・高齢者の方・妊産婦の方・乳幼児の保護者	<ul style="list-style-type: none">・関連のある施設の事業者 (施設管理者、公共交通事業者、道路管理者など)・学識経験者等の有識者 (専門的な知識や他の事例を紹介)

●まちづくりチェックポイント ～3つの視点～

【ポイント】 3つの視点でチェックしましょう。

①移動のしやすさ

- (例)
- ・通行の支障となる段差はないか
 - ・点字ブロックは目的地までつながっているか

②案内情報の分かりやすさ

- (例)
- ・案内板が誰からでも見つけやすい場所にあるか
 - ・案内板は見やすい大きさ、色の文字で書かれているか

③設備の使いやすさ

- (例)
- ・自動精算機は車いすの方でも利用できる高さになっているか
 - ・エレベーターはわかりやすい位置に設置されているか

●段階に応じて意見を聞きましょう

【ポイント】

具体的な計画や設計に入る前など、十分検討が可能である段階で意見を聞くことが重要です。

※意見を聞く手法について例を記載しています。

整備対象や整備規模などを考慮し、意見を反映しやすい方法を活用してください。

①計画段階

- (例)・関連団体へのヒアリングを行う
- ・現地点検（まち歩き）を行う

【ポイント】

計画に盛り込むべき基本的事項について意見をもらいます。
特に利用が予想される対象者を想定します。

②設計段階

- ・事業主体と設計関係者との打ち合わせに参加してもらう
- ・聴取した意見をもとに計画または設計を検討・改善する
- ・設計書に対して意見をもらう

【ポイント】

トイレの配置や数、通路幅などの具体的数値を含め設計書に反映させます。
施工後の手戻りがないようあらかじめ意見をもらいます。

③工事段階

- ・工事完了後の完了検査の立会いに参加してもらう

【ポイント】

点字ブロックが動線上に設置されているか、押しボタンの位置が使いやすいかなど、設計書にはでてこない施工上の留意点を確認します。
完了検査前に行うことで、竣工前の改良を行います。

《参考事例》整備計画検討チームの現地調査の例

福井県では、平成 23 年度に整備計画検討チームを設置し、モデル地区において、地域の事業者や障害者、高齢者等による現地調査を実施し、問題点および改善策について検討しました。

●モデル地区

福井市（JR 福井駅～バス乗降所～福井運動公園）

●整備計画検討チームの委員

障害者、高齢者の当事者団体、公共交通事象者、学識者、県関係各課（委員については、68 ページで紹介しています）。

<検討会の流れ>

①モデル地区の範囲、現地調査のルート、調査の項目を決定

障害者、高齢者をはじめあらゆる視点から、どのような点に注意して調査すべきかを議論し、チーム内での共通認識を図りました。

②現地調査の実施

ルート 1 : 福井駅改札→福井駅前バス乗場→バス案内所

ルート 2-1 : バス停→福井運動公園入口

ルート 2-2 : 福井運動公園入口→体育館入口、陸上競技場入口

ルート 3-1 : 体育館

ルート 3-2 : 陸上競技場

【調査の実施方法】

- ・移動のしやすさ、案内表示のわかりやすさ、施設整備の使いやすさの 3 つの視点で調査を実施
- ・障害者や高齢者等利用者の目線で点検をしながら実施

③改善策の検討

現地調査で気づいた問題点や整備が不十分である点について改善策を取りまとめ、今回の整備の手引きの参考にしました。

【主な改善策】

整備箇所	問題点	改善策
ボタン式自動ドア	・視覚障害者には開閉ボタンの位置がわかりづらい	・感知式自動ドアへの変更
案内表示	・文字が小さい ・見えにくい位置	・大きな文字、明度差のある色を用いて表示する ・見やすい高さ、動線に対して対面する方向に掲出する
障害者用トイレ	・男女兼用のため利用しづらい	・障害者用トイレ（男女別）の増設
点字ブロック	・歩道からバス案内所まで誘導する点字ブロックがない	・点字ブロックをバス案内所および乗場まで敷設